

カリキュラム

A. バックオフィス	企業価値を上げるための財務管理
------------	------------------------

コースのねらい	財務の概念と財務諸表の構造を知り、コスト、資金管理、財務分析の手法を理解することで、企業価値を上げるための財務管理に関する知識を習得する。
---------	---

	「基本項目」	「主な内容」	訓練時間 (H)
講義内容	1 財務の概念と財務諸表	(1) 財務管理と財務諸表の概要 ・財務管理の基礎をなす財務会計とファイナンスの考え方を解説する。 ・財務会計のアウトプットとなる財務3諸表(貸借対照表、損益計算書、キャッシュフロー計算書)の成り立ちを解説する。 (2) 貸借対照表 ・貸借対照表の主要な構成要素である資産、負債、純資産の内訳、および重要な専門用語(固定資産、流動資産、減価償却費など)の定義と意味を解説する。 (3) 損益計算書 ・損益計算書の構成要素である5つの利益(総利益、営業利益、経常利益、特別利益、純利益)を解説する。 ・利益を算出する上で、収益(売上)および費用の考え方を解説する。 (4) キャッシュフロー計算 ・キャッシュフロー計算書を作成する上で、直説法および間接法の考え方とキャッシュフローを構成する営業、投資、財務の各キャッシュフローの概念を解説する。	2.0
	2 コストと資金管理	(1) 概念とコストコントロール ・目標利益を達成するための手法として損益分岐点分析手法を解説する。製造業における原価管理について、計算手法を用いて解説する。 (2) 資金管理の概要 ・資金調達法(企業間信用、間接金融、直接金融、自己金融)を解説する。資金運用法では、設備投資、株式投資、デリバティブの基本を解説する。 (3) 設備投資 ・設備投資に際して、投資回収の経済性から見た意思決定法を解説する。具体的には、主流となる正味現在価値法(NPV)を事例を用いて解説する。 (4) 資金計画 ・企業における資金調達計画と資金運用計画について、長期と短期の運転資金と設備資金の予算化の観点から解説する。	2.0
	3 財務分析と財務計画	(1) 財務分析の概要 ・財務諸表を用いて、企業の収益性(儲かっているか)、効率性(無駄がないか)、安全性(つぶれないか)等、財務健全性の診断法を解説する。 (2) 財務分析手法 ・財務分析に用いる重要な評価指標(営業利益率、流動比率、自己資本比率、ROE等)の意味と使い方を解説する。 (3) 財務分析の活用 ・企業の財務体質強化のための財務分析の活用について、業界比較、対前年比較等から行う手法を解説する。 (4) 財務計画の概要 ・企業価値を高める財務計画について解説する。企業価値の定義、算出方法を解説し、利益管理(損益計算書)に加えて、資産構成(貸借対照表)の目指すべき方向性を解説する。	2.0
	合計時間		6.0

カリキュラム作成のポイント
財務管理に関して、1. 会計(アカウンティング)では、企業活動が正しく行われているかを記録、分析する手法を学び、財務三諸表についてその成り立ち、読み方を習得する。2. 財務(ファイナンス)では、企業価値の算出に必要な現在価値法を習得する。基本要素に加えて、実企業の事例、ケーススタディ演習を追加し、実務面での応用力を高める。

講師から一言
財務諸表の記述用語の意味を理解し、経営分析を行い収益性等を判断できるレベル。また、現在価値法を習得し投資の経済性を判断できるレベルを目指します。